

総合ビルメンテナンス事業などを手掛けるホームックス(本社豊田市松ヶ枝町3の30、餅原幹也社長、電話0565・33・2468)は、7月から名鉄豊田市駅前の多機能複合施設「コモスクエア」に、高性能なA I (人工知能) ロボット掃除機を導入した。清掃スタッフの負担軽減と清掃品質の向上が狙い。消費電力も従来の掃除機と比べ約3分の1に削減できる。人材不足や働き方改革が求められる中、人とロボットが共存する新たな清掃体制を構築し、SDGs (持続可能な開発目標) 活動を推進する。(三河)

AIロボット掃除機を導入

総合ビルメンテナンスのホームックス

7月からA I ロボット掃除機を本格導入した豊田市のコモスクエア



コモスクエアには商業施設、オフィス、ホテルなどが入居し、AIロボット掃除機が清掃するのは各フロ

アの共用スペース。導入したのは、GAUSIUM製の最新モデル「VAC UUM40」。人やものなど、周囲の環境の変化をリアルタイムで感知してルートを変更するため立ち往生することがなく、安全で高品質な清掃が可能。ホームックスが同モデルを採用するのは初めて。

現在、トライアル運用しており、同社の清掃担当者は「清掃業務が効率化され、作業範囲も格段に広がった。今後も最新技術を活用しながらより高品質な清掃サービスを提供したい」としている。一方、コモスクエアを管理・運営する豊田市駅前通り南開発(本社豊田市)の中村礼二取締役は「持続可能な社会の実現に向け、常に新しい技術を取り入れている。清掃品質の安定により利用者に快適な環境を提供し、コモスクエアの魅力を一層高めていきたい」と語った。

豊田市駅前の複合施設へ